

## 教父研究会活動報告

(二〇〇八年六月～二〇〇九年一〇月)

### 第二二四回教父研究会

二〇〇八年六月二一日(土) 聖心女子大学

土橋茂樹氏「バシレイオス―エウノミオス論争における問題の所在―」

### 第二二五回教父研究会

二〇〇八年十月一八日(土) 上智大学

樋等勝士氏「アウグスティヌスにおける〈音楽〉の概念―『音楽論』を通して―」  
名須川学氏「アウグスティヌス数理思想の一七世紀における影響―マラン・メルセンヌのハルモニア論をめぐって―」

### 第二二六回教父研究会

二〇〇八年一二月一三日(土) 明治学院大学

戸田 聡氏「キリスト教修道制の成立―隠修制と共住制―」

桑原直己氏「隠修士と共住修道院―その東方的起源と西方的展開について―」

### 第二二七回教父研究会

二〇〇九年三月二八日(土) 聖心女子大学

宮本久雄氏「身体を張る(extendere)アウグスティヌス」

### 第二二八回教父研究会

二〇〇九年六月二七日(土) 聖心女子大学

高橋 涉氏「擬ディオニュシオスのキリスト論」  
袴田 玲氏「神の光を見ることをめぐって」  
―グレゴリオス・パラマスの擬ディオニュシオス解釈―  
北川 恵氏「音楽による魂の上昇について―『音楽論』第六巻―」  
横田蔵人氏「アウグスティヌスを逆から読む」  
―『三位一体論』における実体の相互内在について―

●同日、研究発表に先立ち、総会が開催された。

第一二九回教父研究会

二〇〇九年九月一九日(土) 聖心女子大学

谷隆一郎氏「神的エネルギー・ Pneuma の経験と信

— ロゴス・キリストを信じるとはいかなることか —」

教父研究会役員

名誉会長 加藤信朗

会長 宮本久雄

運営委員 加藤信朗・柴田 有・宮本久雄・水落健治・

荒井洋一・土橋茂樹・出村和彦

事務局 編集担当 田子多津子

会計担当 佐藤真基子

庶務担当 田内千里・長峯素眞生・袴田 玲

事務局所在地

〒一九二・〇三九三

東京都八王子市東中野七四二・一

中央大学文学部 土橋研究室

編集後記

連日厳しい経済情勢にかかわる報道がなされるなか、本会も相変わらず厳しい会計事情にありますがおかげさまで本誌第十三号を発行することができました。表紙を一新してから早くも三号を数えることになりました。関係者の方々に御礼を申し上げます。

今号は、奇しくも修道制とアウグスティヌスの特集号のような興味深いラインナップとなりました。これも当研究会ならではのことかと思えます。加藤信朗氏著書の書評会の記録につきましては、二年越しの分割掲載となつてしまい、読者の皆様にご不便をおかけすることになってしまいましたこと、お詫び申し上げます。しかし、当日時間的制約でご発言を控えられた宮本氏のコメントを掲載することができましたことを多としたいと思います。

本誌十三号の発行にあたって、引続き新世社の中山訓男氏のご協力を得られましたことをご報告申し上げます。現下の厳しい出版状況の中で、中山訓男氏の教父研究会に対する深いご理解とご協力に心より感謝いたします。

(第十三号編集担当幹事 田子多津子)